

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名		認定農業者協議会助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	岐部則夫
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	大茂 竜二
	基本事業	33	経営力の強化・生産品の価格安定			所属班	農政班	(内線)	1174
予算科目		会計一般	款6	項1	目5	事業連番10285	法令根拠	合志市補助金等交付規則	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
								成果優先度評価結果	: ⑥
								コスト削減優先度評価結果	: ⑨

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	合志市認定農業者協議会の活動に対して助成を行い、事務局として運営に参加する。国による認定農家制度が導入され、認定農業者の組織化を推進し、積極的な活動を図るため、開始された対象者(会員)、法令等は5年前と比べ、大きい変化はないが、助成額は減少している
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	協議会からの事業計画承認申請受付、内容審査、内示、補助金交付申請書受付、決定通知、概算支払い、事業完了報告、額の確定、総会及び役員会の開催、研修会等の企画実施
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特別な意見はない
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	女性認定農業者研修、全体研修、部会別研修、役員研修、全国大会への参加、意見交換会、中学生農業体験受入	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		協議会からの事業申請受付から補助金確定までの一連事務事務局としての運営補助
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア:役員会回数	回	時間外勤務手当の増。
→ イ:研修会回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市認定農業者協議会		→ ア:会員数
		→ イ:人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
学習会や研修等の実施及び情報交換等の活動を行う。		→ ア:協議会の活動件数
		→ イ:学習会・研修会参加者の割合
		(単位)
		件
		%
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
認定農業者協議会で市の補助を受けており、活動に対する補助であることから活動や研修会参加の数値とする。協議会での事業計画		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
①活動指標	ア	回	7	9	6	8	6	6	6	6	
	イ	回	9	10	6	16	6	6	6	6	
②対象指標	ア	人	181	179	185	173	179	179	179	179	
	イ										
③成果指標	ア	件	6	9	8	11	8	8	8	8	
	イ	%	37.1	17.5	40	30.5	40	40	40	40	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	652	654	642	642	669	724	724	724
		(A)事業費計	千円	652	654	642	642	669	724	724	724
		(A)のうち指定経費	千円	52	54	42	42	69	55	55	55
		(A)のうち時間外、特動	千円	52	54	42	42	69	124	124	124
		人件費	正規職員従事人数	人	8	8	8	8	8	8	8
	延べ業務時間	時間	1,080	1,240	1,000	1,190	1,000	1,000	1,000		
	(B)人件費計	千円	4,396	4,940	3,984	4,740	3,984	3,984	3,984		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,048	5,594	4,626	5,382	4,653	4,708	4,708		

事務事業名	認定農業者協議会助成事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 会議、研修会等の活動回数は十分に目標達成したものの、参加人数割合は各研修会によって大きな差があり、平均参加割合では達成に至らなかった。また会員数は高齢による認定再更新率の低下などにより達成できなかった。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 研修内容や開催時期などを見直し、目標を達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 研修内容、開催時期などを見直しにより、研修会等への参加人数の増加を目指す。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 認定農業者制度に代わるものがない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 農家間の情報連絡の徹底により、案内作業を効率化できる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 農家間の情報連絡の徹底により、案内作業を効率化できる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 研修機会、情報提供等は全会員に行っており、協議会活動費の一部は全会員からの会費により実施している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 認定農業者の協議会であり、会員から役員は選出。市は事務局を担当。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

計画した学習会や研修会は予定どおり達成した。参加人数割合は研修内容、開催時期など再考して達成を目指す。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						